

第32回全日本少年少女けん玉道選手権大会

関西ブロック代表選考会

※今年の北ブロックと南ブロック代表選考会は同じ会場です。

開催時間にご注意ください。

※新型コロナウイルス感染拡大予防にかかる対策事項の内容をご確認ください。

※文部タイム競技 2015 の「うぐいす～けん」の静止について
本年より全国大会の内容に基づいて行います。

【北ブロック（滋賀県・京都府・兵庫県）】

○大会日時

2020年8月22日（土）

10:00開会（開場9:30）

【南ブロック（奈良県・大阪府・和歌山県）】

○大会日時

2020年8月22日（土）

13:30開会（開場13:00）

【北ブロック・南ブロック共通】

○大会会場

大阪市立西成区民センター ホール

※体育館シューズは不要です。

〒557-0041 大阪市西成区岸里1-1-50

Osaka Metro 四つ橋線「岸里」東へ徒歩2分

Osaka Metro 堺筋線および南海「天下茶屋」南へ徒歩7分



○参加費

1名 500円

○問い合わせ先

工藤 正和 080-1446-1668

babylon1997@gmail.com

中田 勝仁 090-9984-1309

takanana530@gmail.com

第32回 全日本少年少女けん玉道選手権大会 【関西ブロック代表選考会】

— 新型コロナウイルス感染拡大予防にかかる対策事項 —

◆3密（密閉、密集、密接）の回避について

- ・会場は扉を開けて換気をいたします。
- ・1m～2mを目安に対人距離を確保するようにしてください。
- ・マスクをご着用ください
- ・付き添い（保護者・指導者）は最小限の人数でお願いします。

◆感染症発生時の対応について

- ・参加者に連絡をとることがありますのでご承知おきください。
- ・大阪府が導入する「大阪コロナ追跡システム」への登録にご協力ください。

◆症状のある方の入場制限

- ・入場時に体温チェックを行います。
- ・発熱（37.5度）のある場合は来場をお控えください。
- ・軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある場合は来場をお控えください。
- ・以下の情報を記入する用紙を主催者で用意しますのでご提出ください。記入用紙は作成中です。完成次第、関西ブロックホームページにアップしますので印刷および記入の上ご持参ください。

- ① 氏名、年齢、住所、連絡先（電話番号）
- ② 当日の体温…入場時に体温チェックを行います
- ③ 過去2週間における以下の事項の有無

ア 発熱

イ 咳、のどの痛みなどの風邪症状

ウ だるさ（倦怠感）、息苦しさ（呼吸困難）

エ 臭覚や味覚の異常

オ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触の有無

カ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

キ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

◆消毒・トイレの利用について

- ・施設内の手指の消毒設備（石けんによる手洗い、手指消毒用アルコールなど）をご利用ください。
- ・トイレ使用時はトイレのふたを閉めて汚物を流してください。

◆競技会終了後に新型コロナウイルス感染症の陽性反応の報告について

- ・競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無について報告してください。

◆競技中における対応について

- ・マスクを着用すること（競技中の選手以外は審判、応援者含めて着用する）。
- ・決勝トーナメントでは、選手は呼び出しをうけて試合場内に入るときにマスクを外すようにする。試合中は外したままで、試合終了後にマスクを着用する。
- ・マスク着用して競技を行うことも可能です。

※マスク着用の場合は十分な呼吸ができず人体に影響を及ぼす可能性があることや、熱放散が妨げられることで熱中症のリスクが高くなることを承知してください。また、息苦しさを感じたときはすぐマスクを外してください。

◆その他

- ・今後の国や府の動向により緊急事態措置が変更され、大会開催日に施設が使用不可となった場合は日本けん玉協会関西ブロックのホームページに大会中止案内を掲載させていただきます。

以上

第32回 全日本少年少女けん玉道選手権大会 【関西ブロック代表選考会】

— 競技説明 —

1. 競技方法

- 1) 男子の部と女子の部に分けて実施する。
- 2) 予選競技（予選会）と決勝競技（決勝トーナメント）を行う。

2. 試合形式

1) 予選競技（予選会）

① 1種目5回制10種目による得点競技（成功1回につき1得点/50点満点）にて行う。

② 予選競技の10種目

- | | |
|---------|----------|
| ①とめけん | ⑥うぐいす |
| ②飛行機 | ⑦うらふりけん |
| ③ふりけん | ⑧つるしとめけん |
| ④世界一周 | ⑨宇宙一周 |
| ⑤けん先すべり | ⑩地球まわし |

③ 予選競技の方法と順位

- ・ 試技は主審の「始め」の発声の後、15秒以内に開始し、40秒以内に終了すること。これに違反した場合は失敗とする。
- ・ 予選競技の得点順に順位を決定する。
- ・ 同点が生じた場合は各種目1回目の合計得点の高い選手を上位とする。それでも同点の場合は、各種目2回目の合計得点の大会選手を上位とする。以下同様にして4回目までの得点を使い順位を決定する。以上の方法を用いても順位が決定しない場合、9位以下は同位とする。8位以内については予選の種目を順に1回ずつの試技を行い（サドンデス方式）、成否にて順位を決定する。

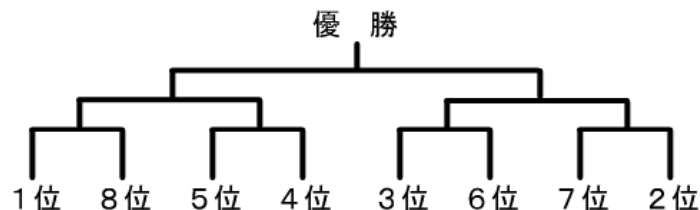
④ 決勝競技（決勝トーナメント）出場資格

- ・ 予選競技上位8名までの選手が出場できる

2) 決勝競技（決勝トーナメント）

① 対戦形式によるトーナメント戦にて行う。

- ・ 組み合わせは、予選の順位により下記のトーナメント表の通りの対戦とする



- ・ トーナメント表の左側、下側の試合を優先順に行う
- ・ トーナメント表の左側にある選手をその試合の先攻とする。
- ・ 3位決定戦は行わない。

- ・準決勝までは2本先取勝ち、決勝のみ3本先取勝ちとする。

※平成27年度より決勝競技について、**準決勝・決勝の種目技**および**タイム競技**が変更されています。

※令和元年度より全国大会は1回戦から決勝戦まで難易度の高い種目(下記②-2)を採用していますが、関西ブロック代表選考会では準決勝と決勝において難易度の高い種目を採用します。

※令和元年度より全国大会は文部タイム競技2015の④『うぐいす～けん』について、「体の静止も含め、玉の穴の縁が正しく大皿（または小皿）に接して一瞬静止しなくてはなりません。」に変更しました。本年より関西ブロック代表選考会でも適用します。

②-1 決勝競技 1回戦の10種目

- | | |
|----------|------------------|
| ①うぐいす | ⑥さか落とし |
| ②うらふりけん | ⑦一回転灯台 |
| ③つるしとめけん | ⑧一回転飛行機 |
| ④宇宙一周 | ⑨ふりけん（もちかえて）はねけん |
| ⑤地球まわし | ⑩灯台とんぼ返り |

②-2 決勝競技 準決勝・決勝の10種目

- | | |
|----------------|------------------|
| ①うぐいすの谷渡り | ⑥灯台～けん |
| ②うらふりけん～宇宙一周 | ⑦二回転灯台 |
| ③つるしとめけん～地球まわし | ⑧一回転飛行機～灯立 |
| ④けん先表裏すべり | ⑨ふりけん（もちかえて）はねけん |
| ⑤すべり止め極意 | ⑩灯台とんぼ返り |

文部タイム競技 2015

(1回戦から決勝まで)

- ①とめけん
- ②ヨーロッパー周
- ③地球まわし
- ④うぐいす～けん
- ⑤はねけん
- ⑥一回転飛行機
- ⑦さか落とし

③決勝競技の方法と勝敗

- ・先攻の選手がくじにより選技し、先攻→後攻の順に試技を行う。
 - ・試技は主審の「始め」の発声の後、15秒以内に開始し、40秒以内に終了すること。これに違反した場合は失敗と判断する。
 - ・一方の選手が成功し、もう一方の選手が失敗した場合、成功した選手に1得点（1本）が与えられる。
 - ・1選技は3回制とし、両選手3回ずつ試技しても勝敗がつかない場合はその選技は引き分けとする。
 - ・1対1（決勝戦は2対2）になった時点でタイム競技を行い、勝敗を決する。
 - ・1試合において、4選技（決勝戦は6選技）を限度とする、4選技（決勝戦は6選技※）終了した時点で得点（獲得した本数）の多い選手の勝ちとし、同点の場合はタイム競技にて勝敗を決する。
- ※決勝戦で5選技を終えて2対0の場合は6選技目に逆転の可能性がないので、その時点で得点（獲得した本数）の多い選手の勝ちとする。

④ 全国大会（第32回全日本少年少女けん玉道選手権大会）の出場資格

男子の部、女子の部とも優勝者には、第32回全日本少年少女けん玉道選手権大会（11月22

日東京・池袋サンシャインシティ) の出場資格が与えられる。新型コロナウイルス感染症拡大状況により、本戦が開催されない場合がありますのであらかじめご了承ください。

3. 使用けん玉について

競技開始前に、審判員による使用けん玉の検査を行う。

- 使用けん玉は、日本けん玉協会認定けん玉（推奨けん玉は不可）であること。
- 使用けん玉は、できるだけ「新品の品質」を保持しなければならない。
- けん玉識別のための記名などは、必要最小限の大きさとし、明らかに試技の目印となる場所にしてはならない。
- 使用するけん玉のワレ、カケ、キズ、ハガレ等の競技に「影響するか、しないか」の判定については、審判団の協議により決定する。
従って、選手は、自分で用意したけん玉の使用が認められない場合を想定して、予備のけん玉を用意しておくこと。
- 競技中に使用けん玉の分解などの支障をきたしたときは、速やかに審判員に申し出、審判員が許可した場合のみ修理または交換することができる。ただし、その場合においても、改めて検査（再検査）を受けなければならない。
- 再検査による合格は、特に止むを得ない場合を除き、1回限りとする。

4. その他

- 参加者の負傷等については、保護者の方で責任を持ってください。日本けん玉協会及び日本けん玉協会関西ブロックでは一切責任は負えません。
- 競技中の私語、携帯電話の着信音、カメラのフラッシュ撮影等、試技の成否に影響すると思われる行為は、競技者のみならず観客の方々についてもその一切を禁止します。ご理解とご協力をお願いします。

以上